マリックスオフィスシステム株式会社

2021　年度　環境経営レポート

（対象期間 2021 年3月1日～　2022 年2月28日）

作成日：　2022年5月25日

目　　次

項　　目	ページ
あいさつ	2
環境経営方針	2
組織の概要	3
事業・製品の紹介	3
環境経営組織図及び役割・責任・権限表	4
主な環境負荷の実績	5
環境経営目標及びその実績	5
環境経営計画の取組結果とその評価	6～8
環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果，並びに違反，訴訟等の有無	9
代表者による全体の評価と見直し・指示	9
これまでの環境活動の紹介	10

□ごあいさつ

昭和４０年の創業以来、弊社は大阪府下を活動の中心とし複合機を主としたＯＡ機器の総合商社として歩んでまいりました。『快適なお客様の仕事環境を創造していただくための高品質な機器とサービスをご提案すると供に、職場環境の改善までをご提供できるトータルソリューションに最善を尽くします』を経営理念に、これからもお客様は当然のことお客様のお取引先の未来までを見据えた事業を進めて参ります。
また弊社は２０２０年４月をもちまして法人創立５０周年を迎えますが、この長い歩みの中で積み上げてまいりました社会との信頼関係がより強固なものとなりますよう地域社会の皆様にも目に見えて認識いただける地球環境保全活動に注力してまいりたいと考えます。日々技術革新が進む現代、人にやさしいオフィス環境創りを目指すマリックスオフィスシステムに大きなご期待を頂きますようよろしくお願いいたします。

環境経営方針

＜環境経営理念＞

私たちは環境保全の重要性とその社会的、公共的使命を自覚し、全従業員が事務機器販売及びサービス業務の活動を通じ、定めた行動指針のもと積極的に地球温暖化問題に取り組みます。そして自然環境に好影響となるよう環境目標を設定し、達成に向けての取組みサイクルを継続、改善し、その実績を一般公表いたします

＜環境保全への行動指針＞

１．環境に関する法規制や組織が同意するその他の重要事項を遵守します

２．省電力と適切な車両運行管理により二酸化炭素排出量削減を図り、大気汚染予防に努めます

３．節水による水使用量と排水量の削減に努めます

４．廃棄物排出量削減に向け、分別の徹底等の適正処理と、機械部品等のリユースに留意します

５．環境に配慮した商品の販売推進と保守活動に努めます

６．社内備品、事務用品・車両等のグリーン購入と調達に努めます

７．会社周辺道路の清掃活動による美化維持に努めます

制定日： 2009年3月1日
改定日： 2014年5月1日

代表取締役社長　苦瓜　正之

□組織の概要

更新日： 2022年3月1日

（1）名称及び代表者名
マリックスオフィスシステム株式会社
代表取締役社長　苦瓜　正之

（2）所在地
本　　社　　大阪府大阪市住吉区長居西3丁目1番32号
テクニカルセンター　大阪府大阪市住吉区長居4丁目2番19号　フローライト長居１Ｆ

（3）環境管理責任者氏名及び担当者連絡先

責任者	取締役	吉川　雅偉	TEL：06-6609-2661
担当者	業務課	天野　世津子	TEL：06-6609-2661

（4）事業内容
ＯＡ機器全般及びその消耗品・通信機器・高度管理医療機器の販売業、
賃貸業及び修理業、ＩＴ管理サービス等のオフィスソリューション事業

（5）事業の規模
売上高　7.67 億

	本　　社	テクニカルセンター	合計
従業員　名	22 名	0 名	22 名
延べ床面積　㎡	347.13 ㎡	117.35 ㎡	464.48 ㎡

（6）事業年度　3 月　1 日 ～　2 月 28 日

□認証・登録の対象組織・活動

登録組織名：　マリックスオフィスシステム株式会社
対象事業所：　本社、テクニカルセンター

活動：　ＯＡ機器全般及びその消耗品・通信機器・高度管理医療機器の販売業、
賃貸業及び修理業、ＩＴ管理サービス等のオフィスソリューション事業

□事業や製品（商品）の紹介

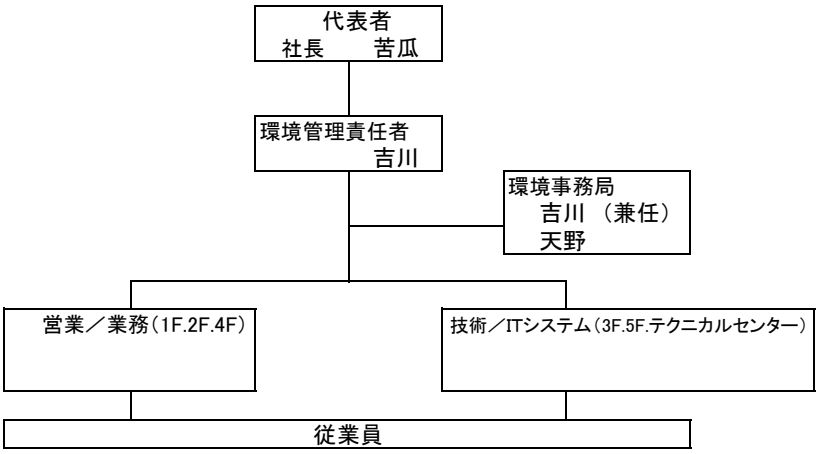
☆デジタルMFP

☆事務コン（業務の効率化をお手伝い）

☆InformationGuard（セキュリティ対策）

□環境経営組織図及び役割・責任・権限表

更新日： 2021年5月20日



	役割・責任・権限
代表者（社長）	・環境経営に関する統括責任
	・環境経営システムの実施に必要な人、設備、費用、時間等経営資源を準備
	・環境管理責任者を任命
	・環境経営方針の策定・見直し
	・環境経営目標・環境経営計画書を承認
	・代表者による全体の評価と見直し、指示
	・環境経営レポートの承認
環境管理責任者	・環境経営システムの構築、実施、管理
	・環境関連法規等の取りまとめ表を承認
	・環境経営目標・環境経営計画書を確認
	・環境活動の取組結果を代表者へ報告
	・環境経営レポートの確認
環境事務局	・環境管理責任者の補佐
	・環境負荷の自己チェック及び環境への取り組みの自己チェックの実施
	・環境経営目標、環境経営計画書原案の作成
	・環境活動の実績集計
	・環境関連法規等取りまとめ表の作成及び最新版管理
	・環境関連法規等取りまとめ表に基づく遵守評価の実施
	・環境関連の外部コミュニケーションの窓口
	・環境経営レポートの作成、公開（事務所に備付けと地域事務局への送付）
全従業員	・環境方針の理解と環境への取り組みの重要性を自覚
	・決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加

□主な環境負荷の実績

項　目	単位	2019年	2020年	2021年
二酸化炭素総排出量	kg-CO_2	61,899	61,297	57,704
二酸化炭素総排出量（参考値）	kg-CO_2	56,238	55,223	57,704
廃棄物排出量				
一般廃棄物排出量	kg	591	598	585
産業廃棄物排出量	kg	8400	5425	5,425
総排水量	m^3	179	122	121

※二酸化炭素排出係数　　0.318　kg-CO2/kWh　関西電力会社の2019年度の調整後の係数
※2019・2020年は0.493kg-CO2/kWhの二酸化炭素排出係数を使用していました。
　参考値として0.318kg-CO2/kWhで計算した数値を記載しています。

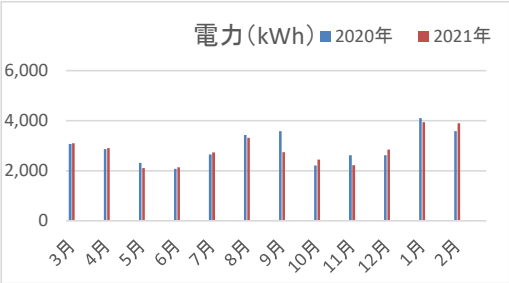
□環境経営目標及びその実績

項　目 ＼ 年　度		基準値（基準年）	2021年（目標）	2021年（実績）	評価	2022年（目標）	2023年（目標）
電力による二酸化炭素削減	kg-CO2	11,037	10,982	10,940	○	10,926	10,871
	基準年度比	2020年	99.5%	97.2%		99.0%	98.5%
自動車燃料による二酸化炭素削減	kg-CO2	44,186	43,965	46,764	×	43,744	43,523
	基準年度比	2020年	99.5%	105.8%		99.0%	98.5%
上記二酸化炭素排出量合計	kg-CO2	55,223	54,947	57,704	×	54,671	54,395
一般廃棄物の削減	kg	598	592	585	○	586	580
	基準年度比	2020年	99.0%	97.8%		98.0%	97.0%
産業廃棄物の削減	kg	5,425	5,371	5,425	×	5,317	5,262
	基準年度比	2020年	99.0%	100.0%		98.0%	97.0%
水道水の削減	m^3	122	122	121	○	122	122
	基準年度比	2020年	99.9%	99.2%		99.8%	99.7%
グリーン購入の推進（オフィス用品G購入率）	%（金額率）	ー	0%	31%		0%	0%
環境に配慮した生産活動	台	210	212	206	×	214	216
	基準年度比	2020年	101.0%	98.1%		102.0%	103.0%

□環境経営計画の取組結果とその評価

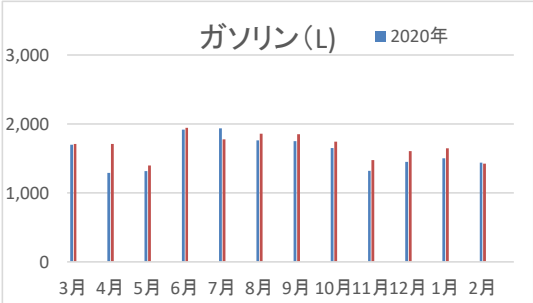
数値目標：〇達成　×未達成

電力による二酸化炭素削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標	〇	テクニカルセンター開設後、基準年の数値を変更し初めての計測ですが目標は達成しています。 全社での目標は達成していますが、テクニカルセンターの使用量が増加しています。社内での作業が増加したためだと思われます。 節電に対する意識は社員に定着しておりますので、これからも節電に努めます。
・空調温度の調整（冷房26℃　暖房22℃）	〇	
・エレベーター使用を控え階段の利用促進	△	
・2F～4F電気温水器　冬季以外は電源オフ	〇	
・不使用エリアの消灯	〇	



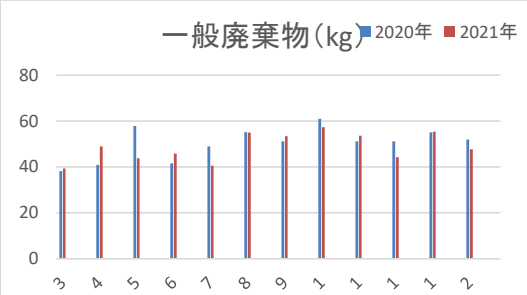
	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月
2020年	3,066	2,861	2,314	2,080	2,654	3,426	3,580	2,212	2,616	2,616	4,106	3,581
2021年	3,100	2,909	2,107	2,142	2,730	3,314	2,746	2,448	2,225	2,842	3,942	3,896

自動車燃料による二酸化炭素削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標	×	基準年度比でガソリン使用量が106%になり、削減目標を達成できず。2020年はコロナの影響により活動量が減少したが2021年は売上も回復し活動量が増えたためガソリンの使用量が増えました。車輌月報などをチェックして対応策を検討します。
・アイドリングストップ	〇	
・タイヤ空気圧の高め設定	〇	
・省エネ走行（急発進、急制動、法定速度）	〇	



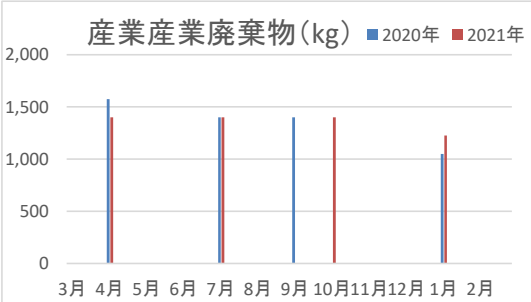
	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月
2020年	1,697	1,290	1,317	1,917	1,936	1,760	1,751	1,651	1,320	1,451	1,503	1,437
2021年	1,711	1,709	1,398	1,942	1,777	1,859	1,850	1,743	1,477	1,607	1,647	1,425

一般廃棄物の削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標	○	両面コピーや裏紙の使用、段ボールや梱包材の再利用に積極的に取り組んでいます。 会議は、プロジェクターを使用することで紙の削減に努めています。
・分別の徹底・３Ｓ運動（整理・整頓・清掃）	○	
・両面印刷・両面コピーの推進	○	
・裏紙の利用	○	
・社内会議のプロジェクター使用	○	



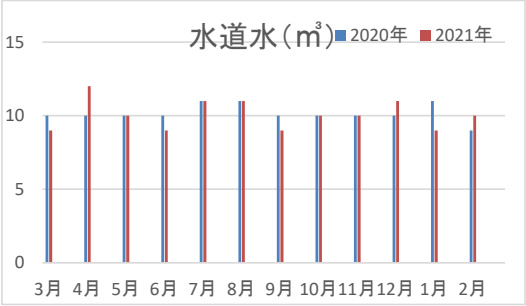
	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月
2020年	38	41	58	42	49	55	51	61	51	51	55	52
2021年	39	49	44	46	41	55	53	57	54	44	55	48

産業廃棄物の削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標	×	目標は達成できておりませんが、お客様の入替やその他の対応に伴う増加なので問題ありません。 今後もメーカーに返却できるものは返却し削減に努めます。
・適正なマニフェストの処理と管理（依頼先・社内）	○	
・産廃処理（廃棄依頼）量の計測監視の継続	○	
・メーカーに返却できるものは返却する	○	



	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月
2020年	0	1,575	0	0	1,400	0	1,400	0	0	0	1,050	0
2021年	0	1,400	0	0	1,400	0	0	1,400	0	0	1,225	0

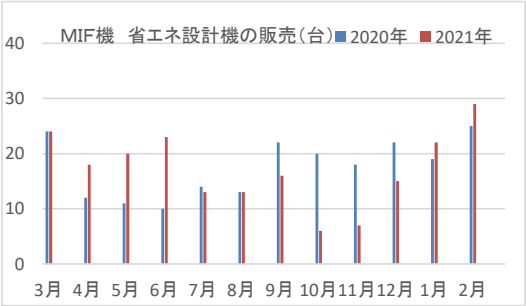
水道水の削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標	○	目標達成しています。 水の使用量は少ないので削減は難しいですが、節水に努めます。
・節水シールの貼り付けとポスター掲示	○	
・節水型器具（タンク/カラン）の採用（交換時期）	×	
・出しっ放し禁止	○	



	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月
2020年	10	10	10	10	11	11	10	10	10	10	11	9
2021年	9	12	10	9	11	11	9	10	10	11	9	10

グリーン購入の推進	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標	―	文房具等は、詰め替えがある商品を購入することによりゴミ削減に努めています。
・記録表を作成	○	

環境に配慮した生産活動	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標	×	下半期は、機器の入荷がなくなり、積極的な営業活動気出来ず、販売台数が減少になる。1月より入荷し始める。2月販売台数を増やすことができるが、累計で未達成となる。
・客先業務合理化の提案促進（主にデジタルＭＦＰ）	○	
・ＭＩＦ機の省エネ設計機種へのリプレース推進	○	
・客先省エネ促進商材の提案（取扱商品全般）	○	
・メーカー協賛の拡販キャンペーン実施	○	



省エネ性能に優れた機種へのリプレースを推進し、
客先でのCO2削減に貢献しています。

従来機から現行機に入れ替えることで、年間約16.92kgのCO2排出量削減につながります

206台×16.92kg（※2）＝年間　3485kg削減

※1 CO2換算には環境省の「平成20年度の電気事業者別実排出係数」【0.561kg・CO2/1kwh】を利用しいます。
※2 当社が多く販売している機種で算出した値です

	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月
2020年	24	12	11	10	14	13	22	20	18	22	19	25
2021年	24	18	20	23	13	13	16	6	7	15	22	29

□環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果，並びに違反，訴訟の有無

法的義務を受ける主な環境関連法規制は次の通りです。

適用される法規制	適用される事項（施設・物質・事業活動等）
廃棄物処理法	産業廃棄物（廃プラ、廃ガラス、廃油等）
消防法（危険物）	危険物の保管
フロン排出抑制法	業務用空調機・冷凍庫・冷蔵庫

環境関連法規制等の遵守状況の評価の結果、環境関連法規制等は遵守されていました。
なお、違反、訴訟等も過去３年間ありませんでした。

□外部からの環境上の苦情・要請等

・2021年度の苦情はなし
・要請として化学物質に関する環境調査依頼

□緊急事態対応の試行・訓練

緊急事態の想定:　　火災の発生

■実施日：　2022年1月17日（月）

■実施場所　5F及び各階西側ベランダ避難梯子

■参加者：　営業、技術、ITシステム、業務　合同

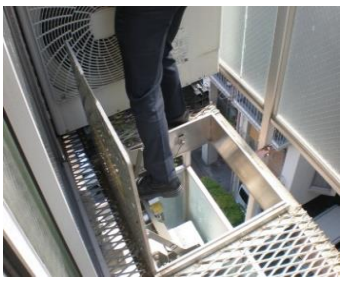
■実施内容：　☐通報訓練　☐消火訓練　☑避難訓練

火災、災害時に上層階より緊急下降する場合の梯子装置使用方法を習得、再確認する。

■評価：人が居れば当たる可能性が有り危険である。
二次被害も考慮した作業、行動が必要。

手順書の変更の必要性☐ あり　☑ なし

■実施状況の様子



□代表者による全体の評価と見直し・指示

実施日：2022年5月18日

2021年度は4月15日の定時株主総会をもって環境経営を含めた一応の事業評価が纏まりました。一言で表せば“予想外に上出来でした”でしょうか。社員皆さんの日々奮闘に感謝する次第です。
社内一定に根付いた新型コロナV対策ではその効果か大きな感染ダメージなく過ぎた一年でしたが、部署クラスター発生もなく業績面では対目標106%という高率をもって2月の期末を迎えることができ、正直なんとかなったとの安堵感のみが残ったと言えます。
しかし大いに反省すべきは数字目標に対する販売計画が直接当社の事業継続計画(BCP)として直結してしまい、やはり当期も販売収益の積上げに対する旗振りばかりが前に押し出されてしまった点でしょうか。人材のリタイヤやメーカーの品薄の思わぬ事態は当期計画を大きく狂わす結果を招きPDCAのCAばかりを繰り返す1年が経過してしまったとの印象です。結果、環境活動に関しては目的・目標からの取組み見直しは当期へ横滑りとなり、社会が提言するSDGsとDXを指針とした取組みや仕組みを具体化できない中、これまで通りの監視・計測や清掃活動維持のみで終わってしまいました。
さて新たな取組み開発のヒントを探す中、4月に入り協業先であるOAサプライ等仕入先の社長よりお話を頂いたのですが、お客様から引き取った文書(製本済み文書、社内一般文書、計算書類etc..)を大型の破砕機にて細かく処理するのと並行して必要な文書をスキャナーで読み込み、電子データとしてファイル作成までを請け負う【機密文書の電子化サービス】を開始されるとの事。しいては私共の顧客に対して大いに宣伝してもらいたいとのご依頼でした。
社会では益々ペーパーレス化が進む中、それでもなお家庭や企業内には使われなくなった書籍や書類など大量の紙が眠っています。それらの紙資源を回収そして無駄なくリサイクル化し、また顧客ニーズに応じて一部を電子データ化するという小規模であってもこれは持続可能な取組みであり併せて環境保護と企業収益源としても期待でき協業メリットは大ありと考えます。複合機メンテナンスの技術員であれば訪問先での提案課題として一声活動を実施できます。今後はこのような環境に有益な側面を持つ仕事を営業活動の中から見つけ出し、目標設定と達成評価を具体化して私たちのSDGsとし益々活性化してまいります。もちろん現状の負荷軽減活動も意義のあるものです。社内での活動、社外本業に関連した活動と目標2本立てで出直しましょう。

環境経営方針	☑ 変更なし	☐ 変更あり
環境経営目標・計画	☑ 変更なし	☐ 変更あり
実施体制	☑ 変更なし	☐ 変更あり

□これまでの環境活動の紹介

毎朝の会社周辺道路の清掃活動